

『わにのkastanetto』



3年 吉岡てるよさん

※口を大きく開かせるのに「ム」の所を、たくさん削りました。



『いもほり』



1年 増島 幸治くん

※いもの色をぬるのが、むずかしかったです。

あつまれ みんなの 力作



5年 行方 重典くん

※鼻を丸くする所と、目の白い部分、黒い部分を表すのを工夫しました。

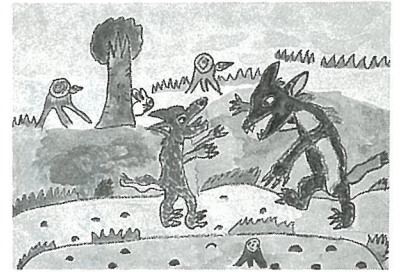


『友だちの顔』

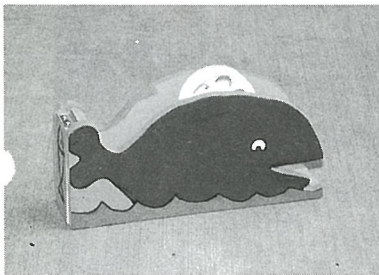


2年 高橋まさよしくん

※空をぬる時に水色のほかに黄色やピンクも使ってみたらじょうずにできました。



おはなしの絵 『ぎつねのおきやくさま』



『テープカッター』



6年 田山 雅代さん

※くじらの背中を丸くするのが、大変難しかったです。色がきれいにぬれました。



『スタンドコラム』



4年 越川 真由美さん

※女の子がサンタクロースの夢を見ている所です。色づかいがよくなりました。

恙なく余白埋めたし初暦

短評 椎名しげる

(評者吟)

群鳥の翔つ稜線の初酉 椎名 静子(二又)

茜色に染まりゆく初空、未だ眠りから覚めない稜線を群れたった鳥に瑞鳥を見た。

読みさしの栞の房や去年今年 越川せつ子(篠本三区)

家事に追われて狭んだままの葉の房、新年を迎えて時の流れの速さに感慨無量。

初風やカモメは岩に陽を浴びる 土屋 義昭(虫生)

カモメに注ぐ作者の目は暖かい。下五の指辞はカモメに対し更に親近感を深めた。

喜寿くるまでめぐり続けむ初暦 秋山 一泉(栢田)

七十七才是指呼の間にある作者、人柄と俳暦から喜寿と詠み句を生きた。

古稀近くなを夢のあり初暦 布施 和代(二又)

選暦を過ぎて、自分の意志で決めた人生に夢を托する心意気。初暦が共感を呼ぶ。

